

【ACKグループ全社一斉に防災訓練 円滑な初動対応実践】

全社一斉に防災訓練 円滑な初動対応実践

ACKG

ACKグループは8月29日、グループ各社の全拠点で、震度6弱の最大規模の地震を想定した約1800人の全従業員参加による「全社一斉防災訓練」を実施した。写真。



事業継続計画（BCP）に加え、初動対応の手順を詳細に定めた「BCP初動対応編」に沿って、「円滑な初動対応

の実践」をテーマに実施した。グループの全国約30拠点に現地災害対策本部を立ち上げ、▽従業員の安否確認▽初動対応の役割分担の明確化▽事業復帰時期の判断▽従業員の帰宅可否の判断▽帰宅困難者への備蓄品の配布——など、初動対応の一連の流れを訓練した。

野崎秀則社長は、「今回の訓練では、従業員の安否確認、初動対応の役割分担の明確化、従業員の帰宅可否の判断などで一定の成果が得られた。今後は、今回の防災訓練の結果を基に幅広く課題を洗い出し、BCPを充実する必

要がある」と災害対策本部会議で述べた。

ACKグループは、社会インフラにかかわる企業として、地域の災害復旧にいち早く貢献することを目的に、毎年「防災の日」の前後に、全社一斉防災訓練を実施してい